メス堕ちお姉ちゃん
本文52p+16p
全68p
~いつも守ってくれた男勝りなお姉ちゃんは今日も先輩に抱かれてオンナになる~

いてっ！
ドタッ
うわああ！にげろ！
このゴリラおんな！
ばーか！
うんこ！
ダッ！
フンッ！

おとといきやがれっ！
ドンッ
いっ……いつもありがとう…おねーちゃん
それよりケガない？
……だいじょーぶ
そっかよかった
かしっ
グイッ

ゆーたクンはあたしがまもってあげるからね！
なでなで
これからもずーっと！
ぱっ
ぱっ

……うん！

おねーちゃんもむりしないでね？

……あ、そうだおねーちゃんにこれ！

すっ

……？もらっていいの？

うん……

ぽりぽり

ぼくにはこんなことしかできないから……

わー！

かぽっ

あ、これ……ばんそうこうだ！

ありがと！

たからものにするね！

にひっ

強くてカッコイイ僕のお姉ちゃん

幼稚園の頃僕の初恋だった

そしてその初恋は今も――

で？
性懲りもなく
こんな廃倉庫街
まで呼び出して
"話し合い"とやらを
終わらせたら
もう勇太くんに
手出さないんだよね？
ああ、
そのつもりだ
立ち話も
なんだ、
あの中で
話そうぜ
にやにや
お、お姉ちゃん……
大丈夫だって
いざとなったら――
これで解決
するからさ！
ゲッ
おい、勇太も
来るか？
いいもの
見せてやるよ
ニィ……
……っ

ひらひら
ゲラゲラ…

勇太くんは外で荷物見てて
すーぐ終わらせてきちゃうから！
くるっ

あいつらが僕にちょっかいを出してくる理由はだいたい想像がつく
生まれつき体が弱くてついでに気も弱くて
ガシャン
何かあるとすぐ泣いて
その度にお姉ちゃんに守ってもらって

きっと強いお姉ちゃんの陰にいつもいて
うじうじしてる僕を見るのがムカつくとかそんな感じだろう
放っておいてくれ
その一言すら言えない
僕は意気地なしだ
僕にもっと勇気があれば——

ドンッ
ビッ

な、なんだ？
今の音……
大丈夫……
だよね…？

……

しーーーん

あいつらとの
いざこざなんて
今まで何度も
あったし

その度に全部
お姉ちゃんが
やっつけてきたし

[redacted]

何時間
待ったかな……

ぼ～っ

さすがに
もうそろそろ――

ミ
ギ…ッ

……っううっ

ガラ…ッ

！

お姉ちゃん！

まだ腕に力入らねぇ……

ううっ……

と――

だ、誰だ……？入ってく時こんな人いなかったよな……？

ううっ……いてぇ……

あ……ゆ、勇太くん……待っててくれたんだね

ありがとう……

ああ、こいつが勇太か
俺からしっかり言っとくからよォ
えっと……
剣崎さん……あ、この人が地域のグループに声かけてくれるって
う、うん……
よかった……
お姉ちゃんがこの怖そうな人を説得してくれたんだ
そして何よりお姉ちゃんが無事に戻ってきてくれて――
本当によかった
わかったな、お前ら？
い……っ…わかったよ！
勇太ごめんな……もう絡まねぇから許してくれ
ガシ
ぐぐ……
よろ……
よしそれじゃさっさと帰るぞ
今日は俺ばっかり良い思いして悪かったな
晩飯驕ってやるよ
ザッ
ザッ
あ、あぁ……サンキュー……

勇太くん、これで安心して学校行けるね

ありがとう！お姉ちゃん！

やっぱりお姉ちゃんはすごいなぁ……！あんな怖そうな人を説得しちゃうなんて！

ドクッ

！

ぎゅっ

……

……

……う、うん！

だって私は勇太くんのお姉ちゃんだからね！こんなの簡単だって！

んーー

あ～～！疲れたし帰ろっか！

うん！

さーて今日の晩御飯は何だろなーっと♪

そっか……
お姉ちゃんもうすぐ
受験だもんね……

ピッ

あの倉庫の一件から
会えてないんだよなぁ

ズッ…

でも仕方ないか……
邪魔しちゃ悪いもんね

会いたいよ……
お姉ちゃん……

バサッ

[redacted]

[redacted]

いえーい！無事進学できましたー！
おめでとー！
ありがとねー
勇太くんも少し見ないうちに大きくなってぇ
すすっ……
なでなで
そんな、親戚のおばあちゃんみたいなこと言わないでよ
あと身長あんまり変わってないよぉ
んふふ…♪

あれ？　そういえばお姉ちゃん……ちょっと髪伸びた？

あー……うん、そだねー
もじもじ
似合ってない……
……かな？
てれ…

ううん！そんなことないよ！
ちょっとびっくりしただけ！
ブンブン
それどころかすごく女性っぽくなってかわいい……

あ、そういえば○高の制服またセーラー服なんだね
あ～……
それねー！△学園なら新しい制服にできたのに残念すぎるよぉ
ははは
第一志望△学園だったのに落ちちゃったんだよね……
お姉ちゃんの学力なら受かれると思ったんだけど……
でも……
僕は……嬉しいよ
僕の学力じゃ△学園は絶対無理だけど○高なら狙える
お姉ちゃんと同じ学校にまた通えるんだから！
勇太くん……
僕、頑張るね！
うん！応援してる！

ミーンミーン
ミーンミーン
おじゃましまーす

ごめん急に押しかけちゃって
いいよいいよーいらっしゃい
今日は予定あるから3時までなら大丈夫だよ

ありがとう！
宿題の範囲で分からないところがあって、早速なんだけど……
とさ。

どれどれ、お姉ちゃんに任せなさい♪
久しぶりだからねいっぱいサービスしちゃうよ♪
スッ
さら。
ふわっ
お姉ちゃん今年の夏はこんな感じの服着てるんだ…去年はもっとラフな感じだったのに……

ドキ
ドキ
Canvas
○高に入ってから僕の知ってるお姉ちゃんじゃなくなっていくみたいで……少し寂しいな
いや、こういうお姉ちゃんも可愛くてすっごく良いけど……

14:30
カチッ

あー！進んだ！
ふー、私も良い復習になったよ
んーっ！
お姉ちゃんは流石だなぁすごく分かりやすくて助か――

ピンポーン
ビクッ
……!?
――ん？
お客さんかな？

……なんで……まだ時間……
ぼーっ……
？
お姉ちゃん？

あ、ううん！もしかしたら宅配の人かも
見てくるから
ちょっと待っててね
ひらひら
スッ

……
……

ちょっ！
……って！
……だ
まさか……
……んのか
ドタ
ドタ
ドタ
ドタ

ちが……っ！
待ってください！
ああっ！
バ
ゲチャ
あ？
ビクッ
はぁっ……
はぁっ……
あー、
そういう
ことか
ドタン

この人……
どこかで……
キイ……
パタン
あっ、
廃倉庫にいた
不良の……
あせ
あせ
あはは……
別に隠さなくても
いいじゃねぇか
け、剣崎先輩とは学校の
ワークグループで一緒で！
この夏休み中に
共同研究をしてるの！

へー、○高って
色々やるんだね
すごいなぁ
くく……っ
そうだな、
一緒に色々――な
ギシ

の、飲み物取ってきますね

おう

……

いやいやいやい

はい
オッケー、っと
友達になった印に
良いもん送ってやるよ
シュポッ
え……？
動画ファイル？
ガチャッ
お待たせ
しましたー
アイスコーヒーで
いいですよね
どうぞ
おう
サンキュー
たん
たん
ん、
2人で何
やってたん
ですか？
あ？
いや別に？
なんだ……
これ……
……
そうですか
ワ

てか飲み物持ってくるだけで時間かかりすぎだろ

そっ、それは！

リビングで服選んでたから……

剣崎先輩が来るのが早すぎるのがいけないんですよ

カラ

カラン

何なんだ…いったい……

お姉ちゃんと……この人が……っ

おら、もっと舌絡ませろ

んちゅ……う……んっ

ふ……

ううぅ……っ

ふーっ

ふーっ

ちゅ

ちゅぷ

ぐくっ

セン……パイ……っ

ギシ……ッ

ギッ

ぷはっ
つー…
しかしまぁ デケェ乳 しやがって
……ッ
こんなカラダしといて お山の大将気取って たんだってな？
今日も徹底的に お前が男に媚びるしかねぇ メス犬だって 叩きこんでやるからな
覚悟しとけ
もじ……
スリ
スリ
クリ
クリ
クリクリッ
ぷくっ
ぷくっ
あ…の…っ
動画…… やっぱり だめぇ…っ
は？
グッ
お前何？ 命令してんの？
ちがっ……！ そうじゃなくて——
ガバッ
ぶるんっ
たぷんっ
きゅ
いっ！
きゅ

まだ教育が足らねぇみたいだな
あっ！あうっ！
あの日みたいにしっかりと分からせてやるよ
ひっ……
おらッ！もっとケツ上げろ！
はっ……はいっ！
……っうぅ……っ

ビクッ
パン
パンッ
ブ……っ
にゅぐっ
あっ……はあああんっ！
きゅん
きゅんっ
あ……っ……！
こうやって叩かれると締め付け強くするとかさぁ
っオッ！すげぇ締まり……っ
このドマゾが
ぬぷぷぷっ
ぐぐッ
ずぷぷぷっ
ぐぐぐ
ぐぐぐ
ぎっ
ビクッ
ぎぁ！

あんっ！
……っあ！
〝お姉ちゃん〟だっけか？
まだ持ってるそのクソみたいなプライド、俺がぶっ壊してやるよ
あ♥
あっ♥
パンッ
パンッ
パンッ
ぶるるっ
じゅぶっ
ずぶっ
ぶるるっ
ひぐっ……ぅぅっ！
たたくの……やあっ……♥
バチッ
バチッ
バチッ
も少し……優しく……ぅぅっ♥
ずぶぶぶ……
お前みたいなマゾメスはこうされるのがイイんだろ？
ぶーっ
ぶーっ
ぶるるっ
ぎゅっ
ぎゅっ
う……♥
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅっ

おらっ！こっち向け！
あっ！
はぁんっ！んあああっ！
ん……く……っ……うぅぅぅっ♥
んあっ……れろ……っ♥
ふあ……っぢゅるっ……♥

これっ…何が起きてるんだ……

——太くん？

お姉ちゃんと…この人が…エッチして……

勇太くん？聞いてる？

えっ

あ

ピクッ

う、うん……

動画の部屋……

ここ…だよな…？

ギッ…

もー、残ったお菓子私が食べちゃうからねー

パリ

ポリ

須堂は食い意地張りすぎなんだよ

剣崎先輩だってよっぽどじゃないですか

目の前の二人が……そのベッドで……

はぁんっ！あんっ！せん……ぱっ……！
クるぅっ……深いの…きちゃ……
あっ……ッレ
はあぁ…ンっ♥
うおっ……中メッチャうねってるえっろ……
……～～っぁ！♥はぁっ……あ……♥
それはそれとして
勝手にイくなっていつも言ってるよなぁ？
ごっ…ごめんなさ…っ
ダメだ。許さん

言って聞かないメスには躾が必要だろ？
ひっ……やだぁっ
ぴくぴくっ
あッ…
ズッ
グッグッ…
ズンッ
ビクッ
お……ぐっ
足……浮いて…これ…やだぁっ……♥
ぷらぷら……ん

俺は好きだぜ。こうして密着してよぉ
それにあの日を思い出すよなぁ？
お前が無力なただのメスだって思い知ったあの日をよぉ
ひぃ……ああっ……！
ふか……いぃっ……
あ……あぁっ……！
存分に味わえ！
あぐっ！うあっ！
ああああっ！
あっあっ！
あんっ！
パンッ
パンッ
パンッ
バチュッ
バチュッ
ぎゅむっ
パンッ
パンッ
ずっ
じゅぷっ
ずっ
じゅぷっ
じゅぷっ
ずくっ
ずくっ
ずくっ
ビクンッ

しっかり受け止めろよ
あ……ッ
あぁ……ッ♥
お前の一番奥でな！
……ッはぁっ！♥
ひ……ンっ♥
はーーっ……はー……っ♥

ぬぽんっ
ぬらぁ
ンッ！♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ♥
ぶるぶる
ぶーっ♥
ぶーっ♥
おぉー、まんこヒクついてんねぇ
えっろ（笑）
こんなに垂らしまくってよォ
ぶっ♥
はっ♥
ガクッ
いや…ぁっ……
とろっ
言わないで…っ
でくっ
でくくっ♥
あとでちゃんとピル飲んどけな
はぁっ……はぁっ……
ああ、それと――
イッ

ほら、休んでねぇで中に残ってる分しっかり吸い出せ
ズッ……
ビキ
ビキッ
……っ
ふぁい…♥
くぷっ
ぢゅぢゅ…
ぶ――っ♥
ぶ――っ♥
ぢゅくっ♥
ぢゅくっ♥
ん…ちゅ♥
[redacted]
これ……あの扉の所――
ということは、そこに……お姉ちゃんとこの人の体液が……
それどころか……もしかしてこの部屋のあちこちに……
うっ……
ど、どうしたの勇太くん？

ご、ごめん今日はもう帰るね……

おっ、そうか。またな

すっ……

大丈夫？家まで送ろうか？

ギィッ

トン トン

ううん、一人で帰れるから……

ガチャッ

気を付けてね

……

あの部屋に居られなかった

思い出の……お姉ちゃんと時間を共にしたあの部屋が

ザッ

ザッ

まさかあんな男に踏み荒らされていたなんて……

それだけじゃない……

ギリ……ッ

お姉ちゃんが……お姉ちゃんがあの男に……ッ

[redacted]

勇太くんと疎遠になって
8ヵ月が経ちました

8:08
明けましておめでとうございます
既読 11:35
初詣行ってきたけど人混みすごかった
勇太くんの合格お祈りしてきたから
ありがとう 16:48
1月7日
既読 12:15
今度遊びに行かない？
観たい映画があるんだけど
ん、受験勉強で忙しいから 17:28
既読 17:30
そうだよね、ごめん
また今度行こうね
3月22日
既読 12:10
学校決まった？

あの夏以来、
メッセージに最低限の
返事をくれるだけで
どことなく避けられて
いる感じがします

令和8年度
祝 入学式

涼華、何ぼーっと
してんだよ

えっ？

あ、ううん……
何でもない…です

はぁー……お前
分かりやすすぎ

できねぇこと
やろうとすんなよ
ポンコツ

ぐ……！

なんっ……！

さっき勇太見かけたぞ

……！

ピクッ

全部終わったら体育館裏に来るよう言っておいたから

勇太くん…そっか…この学校受けてくれたんだ……

よかった……

時間潰したら俺らも行くぞ

……はいっ！

ぎゅっ！

なに緊張してんだ(笑)

だって…久しぶりに会うから……

ザッ

お姉ちゃん！

あっ！勇太くん！
会いたかった……
久しぶり――
ガシッ
グイッ
とすっ
ぎゅっ
……！
健吾……
先輩……？
たじ……
あ、あの……？
ググッ……
今日の日程終わったよな？
これからウチで入学祝いパーティーでもどうよ？
……
……
……行きます
ほぉ？てっきり断るかと思ったわ
じゃあ行こうか
勇太くん…

まぁ適当にくつろいでくれや
おじゃましまーす
……お邪魔します
ガチャッ
あっ、ちゃんと部屋綺麗にしてますね
前はあんな散らかってたのに――
きゃあっ！
お、お姉ちゃん！
ガバッ
ぬるっ
ビクッ
健吾先輩……こういうの急にやるのやめてくださいって！
いつの間に上着まで脱いで……
ぎゅっ
ちょ……っ せん……ぱ……っ
……
……
ぐっ……
グッ！
お姉ちゃん！僕、お姉ちゃんのことがずっと好――
き――
ンッ！
ぜぁるるる
ぐぐぐっ……
グッ
クイッ
ぐぃっ
――ンンッ！
ン――ッ！
ぐぐ

ま、まっ……
ぷぱっ
ビクッ
ガシッ
ン……！
ン――ッ！
ぶちゅっ
ぐちゅっ
ふぁ……
ちゅっ♥
……ッ！
ギリ……
ちゅっ♥
は……ぁ……
すっ……
ん……ふぁ……
れろっ……♥
ぴちゅっ♥
ちゅっ♥
ン……
れろっ……
ぐちゅっ♥
あっ……
っ――……
はっ
はっ
まぁ、こういうワケだ
ニヤッ
せん……ぱっ……ダメですよ……勇太クンの前でこんな……♥
たじ……
俺と涼華は深ぁい愛情で結ばれてるってワケ
……ッ！僕だって……僕にだってッ！
ダッ！
ずっと前から！
わしっ
ンは
まもって
らね！
幼稚園のあの頃から――
これか
ずーっ
お姉ちゃんだってきっと想いは一緒のハズなんだ！
あっ……！それは……っ！
グッ

……！

な、なんで…？

お姉ちゃん……

これ……

ブル

ブル

そっ

それは…っ

宝物だ、って……

あの時お姉ちゃんそう言ってくれたのに……

……っ

なぜかって？教えてやるよ

ぱこっ

俺がそうさせた

もうあんなくたびれた絆創膏なんて必要ねぇんだよ

俺が守ってやるんだからなぁ！

うあ……ああっ……

へたっ…

今から俺たちの愛の深さ"ってやつを見せてやるからよぉ

グッ

脳裏に焼き付けとけ

えっ…ちょっと…健吾先輩……？

グイッ

ギシッ

まっ……

いやああっ！

ビクッ

待って……勇太くんいるのに…っ

あっ…くっ

グワッ

カパッ

ピクッ

グニグニ

ぐぐっ
ぐぐっ
先輩の……固くて…
おっきぃ指が……
こすれてっ……
ふ――っ
ふ――――ッ♥
くにゅっ
くにゅっ

……！
見ないで……っ
見ちゃダメぇっ！
ぴくっ……
くりくり

ビクッ
ビクッ
んひぃ♥
ああっ
クイッ
クリ
クリ
クリッ
きゅっ
きゅうぅぅっ♥
良い感じにほぐれてきたな

ぐぐっ
ぐぐっ
ぐっ♥
ぐっ
あ…あ……や……ぁっ
くちゅ
くちゅ
ひんっ♥
み、見られてるっ……勇太くんに……私の大切なトコ……

あっ
ビクッ♥
ビクッ♥
あっ！♥
くちゅ♥
くちゅ♥
ビクッ♥
ああああっ！♥
くちゅ♥
くちゅ♥
ガクガク♥
すっかり艶っぽい声出しやがって

ん……ぉ……

ゆび……ナカに入って…っ…

ビクッ

プ…ぷ…っ

ぷぷ…っ

は――ぁっ♥

最初はテキトーに遊んだら捨ててやろうと思ったんだけどよぉ

可愛がってるうちに俺の色にみるみる染まっていってなァ

ゾクッ…

ゾクッ…♥

――は…ァんっ♥

ちゅく

ちゅく

ちゅく

う……

今じゃほら、軽く弄ってやっただけでこの有様だ

俺は自分本位だしべつに上手くもねーけどよ

これだけ涼華がびっしょり濡れちまうってことは

ぬちゃ…っ

ぶる…

あっ…

はー…っ

はー…っ

ぶる

ガシィッ

むに…っ

むにゅっ

それだけカラダの相性が抜群に良いんだろうなぁ

ううううっ……！

ひく

ひく…っ♥

そろそろ本番いこうか

ピリッ

あっ……！

だ、だめですっ！それはっ！

グググ……

スリスリ……

おねえ…ちゃん……

お願いです！勇太くんには見せたく――

ビクッ

ビクッ

ナデ

ぐぐっ

――んあああっ！

ズプッ

みちっ

みちっ

ズズ……

ズンッ

はいっ……ちゃったぁっ…… 勇太くんの見てる前で……
ぶるぶる
はぁっ……はぁっ……
たんっ
たんっ
たんっ
お前の大好きな〝お姉ちゃん〟がイキ狂う様、しっかり見とけよ
あっ……
……
じゅぷっ
ずっ
じゅぷっ
……ッ！
バッ！
このっ……いい加減……怒りますよっ！
は？ お前が怒ったところで何になるんだ？
ガシッ
きゃっ！
ビクッ
こんな情けねぇカッコでハメられてるくせにろくな抵抗すらできやしないのによォ
うあ……っ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ドッ

あっ♥
あっ♥
だめっ……ホントに身動き…できなっ……
あっ♥
ゆっさ
ゆっさ
たぷっ
たぷっ
ズチュッ
ズチュッ
このドMザコまんこが
ふ――っ
嫌がってみせておいて
本当は喜んでんだろうが！
ぎゅうぅぅっ♥
ふ――っ！♥
先輩のおちんちんが動くたび……全身に電気が走ってっ……頭シビレるぅっ……♥
ぞくっ♥
あ……
ぞくっ♥
あ……っ♥
勇太くんに見られてるのにっ！
恥ずかしいのに…いっ！
なんで……こんなに気持ちいいのぉ……?!
バチュッ
バチュッ
バチュッ
バチュッ

せん…ぱいっ……ちょっと一旦……とめ……

ダメに決まってんだろ

このままじゃ勇太くんに……っ

おらっ！股かっ開いてしっかり見せてやれ！

あっやだっ！くるっ……きちゃうっ！

だめだめだめ！

ぴくっ

ぴくっ

くりくり

もみ

もにゅっ

パンッ

パンッ

パンッ

はぁ～♥

はぁ～♥

ぐりぐり

ぐりぐり

ぐりぐり

お……
あっ……
ガクガク
ガク
奥……ビクビクしてるっ……♥センパイの固いのが……♥
ぐぐっ

勇太くんの前で……イかされ……ちゃった……ぁ♥
ぬぽっ
ぬこぬこ……

ふぅ……
ばたっ
はぁはぁ
はぁはぁ
ぎしぎし
そういえば勇太、この半年間俺の送った動画受け取ってたよな？
……はい
ぎゅっ
一番好きなやつどれだ？

あっ
う、
たじ
たじ

……
……あの…後ろから覆いかぶさってるやつ……です
ぼそっ……
ごくっ

あー、あれね。オッケー
ひくっ
ひくっ
ぬぎっ……

な、何の話を――

ぽす……

ぽす

グッ

ギッ

ギシッ

あうっ！

ぼすっ

勇太からのリクエストだ

悪いけどこの後はナマですっから

くちゅ……

だ、だめっ！

今日は……

あ、あぶな――

……あああっ！♥

ぬぷぷ……

ぐぐっ

ぐぐぐ……

こいつもコレ好きでなー

気持ちイイところに当たりやすいんだとよ

ニヤァ……

ごくっ

ちゅく ちゅく
ちゅく
ちゅく
ギッ
ギッ
パン
パン
パン
パン
パン
ふーっ！
ふ――っ！♥

パン
パン
ぐりゅぐ
ぐりゅぐ
ビリッ
ビリッ
ビグッ
ビグッ
ふっ！
必死に声
抑えてら(笑)
く…ぅっ！

ぐ…っ
ぐぐぐぐっ
ぐぐぐぐっ
ぐぐぐぐ
ぐぐぐぐ
ぐぐぐぐ

ほんとお前これ好きな(笑)

あっく!ううぅぅ〜〜〜ッ!♥

ナカだけでイってるのに……クリまで……っ!

頭おかしくなるぅ……っ♥♥

いくぅ……っまたイっく……♥♥

〜〜〜〜〜っ!!♥

ガシッ
よし、そのまま
イキ顔
見せつけてやれ！
あっ
やあっ！
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
勇太くん……
見ないでぇっ！
こんな……っ♥
ビクッ
ぬぷ…
ぬぷぷ
ブルッ
ブルブル
ごめんなさい…こんな
はしたなくて情けない
お姉ちゃんで……
ああっ！
だめっ！
ガッ
ぐわっ
だめぇっ！♥

……あぁぁあっ!!
はぁぁぁンッ!!!
んちゅ……ふぁっ……
せん……ぱい……れろっ……
はッあんっ
あっ
ビクンッ
ビクッ
ビクッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ちゅっ
ちゅぱっ
ふぅっ
ふぅっ
ふりふり
さわ
さわ
もみ
もみ
ガクガク

ンンンッ！
ギュッ
ぐぐぐぐ…♥
き♥
は♥
また……♥
でて…ぅっ♥♥
ビュルウッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ぶるっ
とろぉ…
んはっ……
はぁっ……♥
お姉ちゃん……
ズッ
……
ぎゅっ
……
お姉ちゃん……
ニコッ
とっても、
綺麗になったね
……っ！
勇太くん！
バッ！
ハッ
くるっ
さよなら、
お姉ちゃん
あっ……
……

-1年後-

怖かったんだ
1年半前、初めて動画を観たあの夏の日からの約半年間

お姉ちゃんに問いただすことはいつだってできた
けど、あの時訊いてしまったら全部終わっちゃう気がして
結局、お姉ちゃんからのメッセージに無視同然の対応をしてしまった

ははっ…ほんと、弱いなぁ僕は……

だから入学式のあの日、僕は剣崎先輩の家に行った
あれは儀式みたいなものだ
僕が踏ん切りをつけるための
その結果はまぁ……
告白すらできなかった大惨敗なんだけど……

新年度を迎えお姉ちゃんは東京の大学に入学した

剣崎先輩と同棲してるらしい

先輩からは今でもたまに怪しい動画が送られてくる

百合島くーん！

遊びに来るよう先輩が誘ってくるけど絶対行ってやるもんか

ごめん！日直の仕事長引いちゃって

お姉ちゃん次に会う時にはもっと綺麗になってるんだろうなぁ……

もう歩む道は違っちゃったけど姉離れできるくらいにはなれたと思うよ

……今までありがとね、お姉ちゃん

ぜんぜん！今来たとこ

そっか良かった今日どこ行く？

んー……駅前のカフェはどうかな？

いいね！新作のスイーツ美味しいらしいよ

僕もそれ食べてみたくてさ——

おい！あのゴリラ女やべぇって！こういう時のためにお前を呼んで――

ドゴッ

ウグッ！

なんだ……うるせぇな……

お？おー……

むく

……コイツらお前が一人でやったのか

だったら何？あんたもお仲間ってやつ？

スタッ

……まー、そんな感じだな

ぽりぽり

……っ

ズズズ

……そう

それなら容赦しない！

バシッ

寝起きの相手に顔面狙いかよ

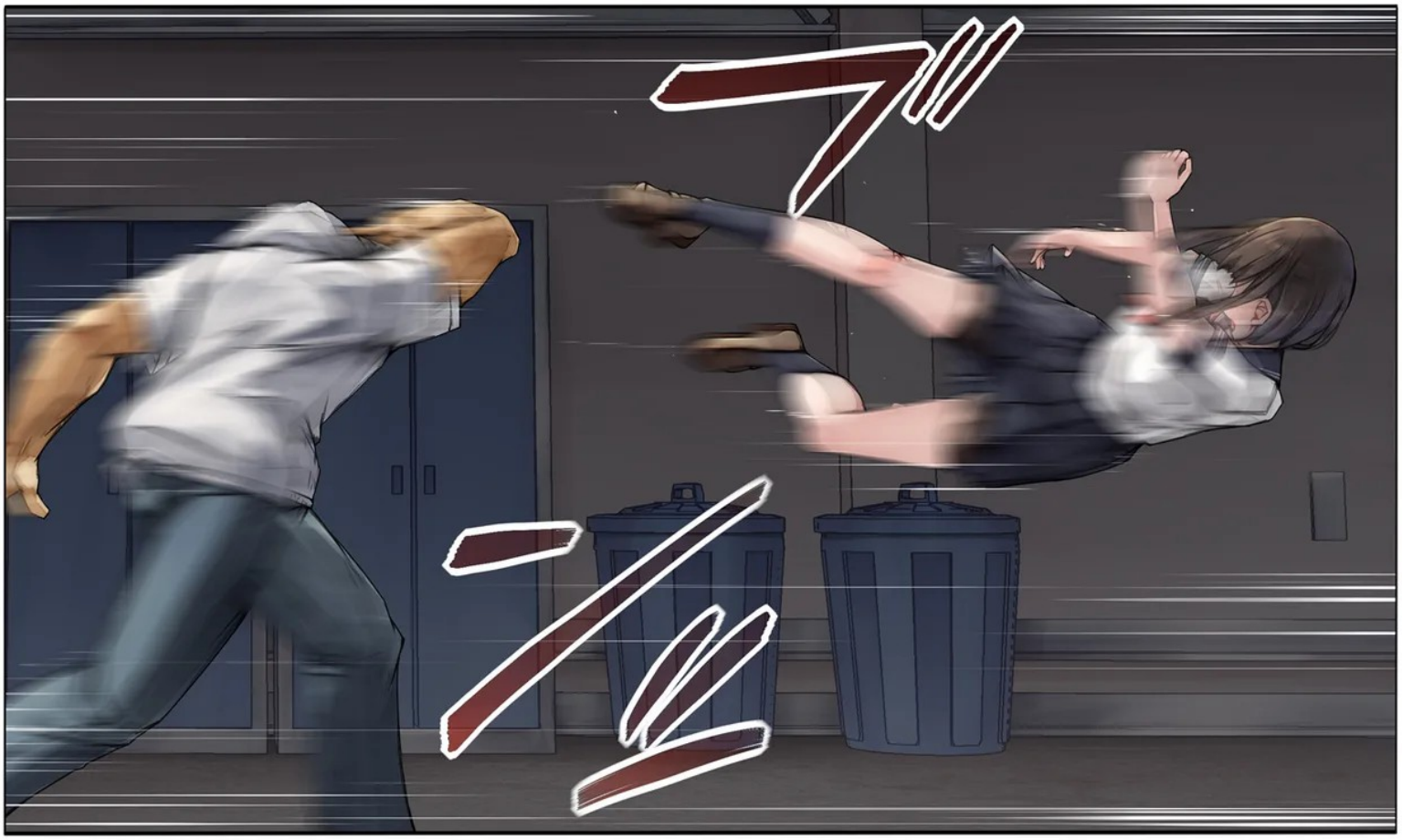
ブンッ

うん、良いな

はぁ？何言って…ッ！
ザッ
すたっ
蹴りが鋭い
素人じゃないな
ブンッ
スッ
多少経験ありってとこか
やあッ！
シュッ
だが攻めが単調。実戦はあんまりか
ザコばかりと戦って
男なんて大したことないって本気で思ってんだろうなぁ
はぁああッ！
ズボッ
ぱしっ
今までただ運が良かっただけなのに

ゲ
そうか
ンッ
ギュオッ
なら放してやるよ！
きゃあっ！

くく……っ
ぐいっ
良い眺めだな
ぐいっ
……ッ！やめろ！この変態っ！


ブ
ン

ド
ンッ
が……はっ！
あ…ぐ……
ごほ…
ごほっ
くるっ
ガ

先に手ぇ出したのは
お前だからな？
まぁ、外から
見える部分は
勘弁してやるよ
可愛い顔が
腫れあがってちゃ
この後のお楽しみが
興ざめだからなァ
ひ……っ！
ぐわっ……

気の強い女は好きだ
ゴッ
心をボキボキに折って〝分からせて〟やるのが
ドムッ
最高に楽しい
ドッ
ゴッ
ばた、
ばた
ばた、
……
は…っ
…まっ
イイぜお前……
ゲシッ
あ…ぁ……

おい、わかってんだろ？
下のそれさっさと脱げ
ゲイッ
さわ…
あ……っ
ぶるぶる
おね…がい……それだけ…は…っ
イッ
てめぇにはソレ以外何の価値も無ぇだろうが！
それとももっと痛い目に遭いたいか?!
ズズズ
ギュッ
ビクッ
い……っ
ガタ
ぅぅぅ……っ！

……
じわ……
すっ……
まだ履いてんだろ
ピッ
さっさと脱げ
……
……っ
ぐっ……
しゅるる……
パサッ
グッ
よーし
そのカラダできっちり払ってもらうぜ
負けた分の対価をな
ズイッ
ビキ
ビキッ
ぐわ……
……あ

……ああっ！
いや……ぁっ！
……ああぁぁ♡!!
イキがって見せても結局男には力じゃ勝てねぇって事
しっかり学んでいけよ、お嬢ちゃん(笑)
あ…ぁぁっ……
ズポポン
ビクッ
ビクンッ
ガシッ
ぐぐっ……
くちゅっ
ずり……♡
ガク
ガク
ずぷぷ……
じゅぷ……
フッシュ

ッふうっ！
やっぱ鍛えてる女は締まりが良いぜ
おね……がいっ……
あッ……
……せめて優しくして……
はははッ！初めの威勢はどこいった？
急に乙女モードかよ！
ああああっ！
あうっ！
うぅぅっ！

ぶっちゃけ
コイツを見た時から
どう犯そうかってこと
ばかり考えてたからな

引き締まった
このカラダと
でけぇ胸

触り甲斐があって
満足感の
カタマリだぜ

ああああっ！

あンっ！

くっ！

うっ！

俺に犯されるために
今まで生きてきて
くれてサンキューな

あっ！

あ！

あッ!!

あいつらに
誘われた時は
気乗りしなかった
けどよぉ

こりゃあの
馬鹿トリオには
勿体ねぇわ

なぁお前、俺のオンナになれよ

今日で分かったろ？腕力においては男が上、女が下だ

どれだけ鍛えても女は女の域を超えない

……っ！

ううっ……誰が……っ！

くぅっ……

パンッ パンッ パンッ パンッ パンッ

たんっ たんっ たんっ

それなのにお前は男の領分に足を踏み入れた

——いや、踏み入れなきゃならなかった

……！

そして弟分をかばってやるのを重荷に感じてたんだ

そうだろ？

っあ——

ギュッ ダクッ

俺のオンナになれば
ここら一帯の奴らに
二度と手は出させねぇ

だから

もう肩の荷
下ろせ、な？

……っ

俺が守って
やるよ

きゅうぅっ♥

きゅんっ♥

きゅんっ♥

うあ……っ

わ、わたし……

ぐちゅっ♥

ぐちゅっ♥

そんな、
こと……っ

ブルブル

よく考えとけ
あっ！
あっ！
パンパンパンパ

出すぞっ！
あぁぁぁ…っ
ビュルッ
ビクッ
ビクッ
ビュルッ
ビュルッ
ビュルッ
ビュルッ
ドクンッ
ドクッ
ドクッ
ビュ～ッ
あ……あぁ……
中あっ……出てるぅっ…
ぬぽっ
ぬぽっ
ぬぽっ
はぁっ……あ……はぁっ…
っく…うぅっ……
すげぇ気持ちよかったぜまたヤろうな
ずり…
……っ

おい、いつまで寝てんだ起きろ
い……って！
ゲシッ
っうッ！
ぐ……
話はついた
出てく準備しろ
……あ、あぁ
ふら……
あっ……
ガシッ

ふぅっ……
ピクッ
もみ
もみ
ぅん……っ
ブル…ッ

また今度連絡する
ぼぅっ……

ガラッ
ガララ……ッ
……っ
……は……い
……んっ
もぞ……

お姉ちゃん！
あ……ゆ、勇太くん……待っててくれたんだね
ありがとう……
さぁ
さぁ
ぎゅ
ぐぐぐ……
ぐぐ……

本編へ続く